

「ゴールドリボン」は小児がん支援の世界共通のシンボルマークです。

つなげよう！ゴールドリボンのWa ～がんと闘う子どもたち・家族の未来のために集まろう～

お店は全て
12:30分頃
オープンだよ!

《縁日コーナー》

スーパーボールすくい
射的、くじ引き など



「みんなで知ろう！小児がん」 細谷亮太先生講演&トークショー



細谷亮太先生

撮影：佐藤彰宏

《ワークショップコーナー》



アイシングクッキー



ブレスレット

みそ玉体験
レースアクセサリ
など



《レモネードスタンド》

あなたの飲んだ
一杯のレモネードが
小児がん支援になります



《飲食コーナー》

パン、かき氷、わたあめ
など



《こども食堂》

高校生以下
のお子さまはぜひ!

POLAミナミ支店の
AIによるお肌分析で
食生活や体調ケアまで
トータルに健康に!

セルフマッサージ教室
アロマスプレー作り



MINAMI
クリエイターズ
による似顔絵
コーナー☆

わくわく
スタンプラリーで
おみやげが
もらえるよ

《バレエステージ》



《めぐちゃんの
バルーンショー》

《手話ダンス》



令和6年 9月1日 日

アオッサ8階県民ホール

OPEN 10:50 **入場無料**

ステージスケジュール

- 11:00~11:20 開会式
- 11:30~12:00 細谷亮太氏 講演
- 12:00~12:30 細谷亮太氏 近藤博子氏 鈴木孝二氏 トークショー
- 12:40~13:10 坪田バレエステージ
- 13:20~13:40 手話ダンス/ハピネスudダンス
- 13:50~14:20 めぐちゃんのバルーンショー
- 14:30~15:00 スライドショー

本事業はライオンズクラブ国際財団の協力を得て実現しています。

主催：福井本丸ライオンズクラブ

協力：公益財団法人 がんの子どもを守る会 福井支部・NPO法人ふくい子どもホスピス・ホスピタル・トイふくい・ふくいピュアライオンズクラブ

後援：福井県・福井市・福井市教育委員会・福井新聞社・FBC・福井テレビ・福井県社会福祉協議会

9月は小児がん啓発月間

小児がんへの理解支援を呼びかけるカラーはゴールドです。

子どもたちは「金」のように貴重な宝物、そして小児がんと向き合っている子どもたちと、彼らに必要な医療・ケアと研究に「輝かしい光を」との意味合いも込められています。

レモネードスタンドとは？

レモネードスタンド活動は、小児がんの支援です。

アメリカのアレックスという小児がんの4歳の女の子の、「同じ病気と闘う友達との別れ」という辛い経験がきっかけでした。「がんと闘う子供たちを助ける治療法を見つけてもらおう！」と思い、自宅の庭でレモネードスタンドを開いて集まったお金を病院へ寄付しました。この活動は、メディアに取り上げられ全米に広がり、アレックスが亡くなった今もその意思は引き継がれています。

日本では高校英語の教科書に、「Alex's Lemonade (アレックスのレモネード)」という物語が紹介されたことから、活動の輪が広がっています。

プロフィール《講演 & トークショー》

細谷 亮太 氏

1948年山形県生まれ。1972年東北大学医学部卒業。聖路加国際病院で小児科研修医、1978年1月から米国M.D. アンダーソン小児科にてクリニカルフェロー。1980年3月に聖路加国際病院小児科に復職。医学博士。小児科部長、副院長兼小児総合医療センター長。2013年定年退職。現在は顧問。小児科医として(『小児がん』、各種育児書等)、俳人(暁々)として(『桜桃』、『二日』、『父の夜食』)、エッセイストとして(『いつもいいことさがしⅠ、Ⅱ、Ⅲ』他多数)。公益財団法人そらぶちキッズキャンプ代表理事。公益財団法人がんの子どもを守る会副理事長他。



近藤 博子 氏

大学卒業後、1973年から小学校の教員。1986年夫の転勤によりドイツで暮らす。1989年ドイツで長女が白血病を発症。1990年帰国後骨髄移植を受けるが、1991年に15歳で亡くなる。その後社会事業大学に編入学。卒業後、がんの子どもを守る会にてソーシャルワーカーとして仕事をする。2001年から理事。2011年から副理事長。



鈴木 孝二 氏

2001年に福井医科大学医学部を卒業。同附属病院小児科、大阪赤十字病院小児科にて、一般小児全般の臨床研修を行う。2006年から福井大学医学部附属病院小児科にて、主に血液悪性腫瘍を中心に臨床経験を重ねた。2010年より国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科がん専門修練医として、臨床および研究に従事した。2012年より福井大学医学部小児科。

がんの子どもを守る会

小児がん患者とその家族が直面している困難、悩みを少しでも軽減すべく、多くの方の支援をもとに活動している団体です。



ふくいこどもホスピス

「きょうも1日楽しかったね」をモットーに、病気と闘う子どもとご家族が笑顔で過ごす毎日と一緒につくっていきけるよう活動し、将来はこどもホスピス施設の建設を目標としています。



ホスピタル・トイふくい

小児がんによる入院、治療の必要な子や家族の環境が良くなるようにと作られた会です。年齢に合ったおもちゃの提供、おもちゃで子どもと一緒に遊ぶ専門家(HPS)の養成の支援、小児がん啓発のためのレモネードスタンドなどの活動をしています。

